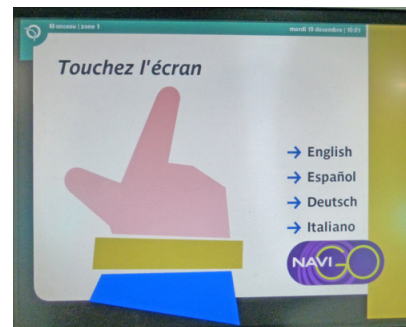


4826 **パリ滞在記：地下鉄・パリ・メトロ** 117

当初の関心は、リスク管理が脳裏にあった。旅が台無しになる。
時間帯や路線で、様相や危険度も異なるだろう。最初は、過剰な反応だが、気を配った。
何しろ、今回もひとり旅。過去には、大勢の乗客が乗車しているのに、
ジプシーの子供に襲われたと言ったほうがいいのだろう。実際に、体験をしている。



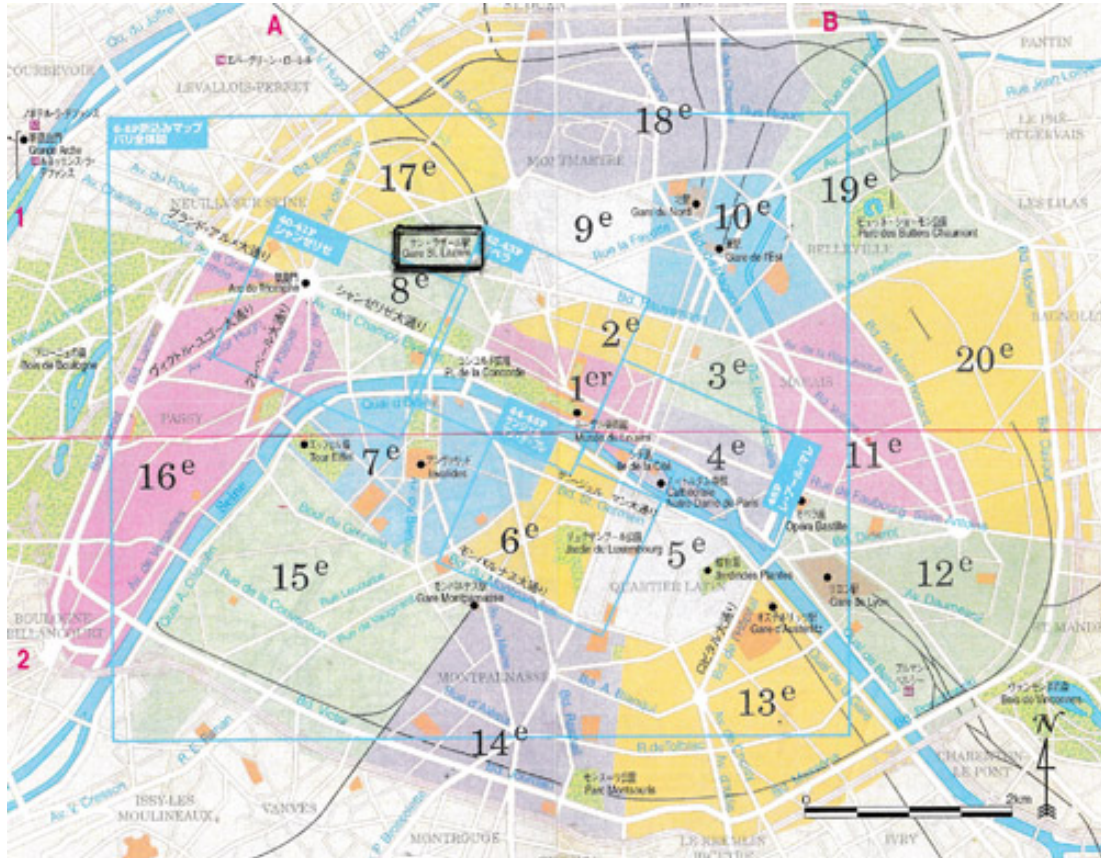
1人でないグループ。3人ほどの手が、堂々と、ポケットに、手を入れてくる。
予想していたので事なきを得た体験。 電車内のどの位置に陣取るか、時間帯や路線でも違う。
2018年は、テロで取締りも厳しくなり、そうした場面は、昔話なのだが。
パリの地下鉄だけではない。アメリカ・ニューヨークでも同じ。
新たな手段というか、手口を考えるだろう。ともかく、**油断大敵。** 人様が多い状況下に
今現在の、出入り口や構造、状況、等々、把握に努めた。

パリの地下鉄。駅ごとに内装が同じでないのも、楽しく、面白い。
路線によって、駅も、暗い照明で、無人の状況下になると、過剰反応してしまうことも。
時間帯に注意していても、取材で遅くなり、仕方なくの時間帯もあった。
切符の購入で、戸惑っている、後ろ姿など見せられない。

何度も、パリの全体図と、地下鉄やバス路線を確認。頭に入れる。

一番安心できる場所は、下記パリ全体図の印のある、サンザラル、**滞在中のホテルの部屋**。

大晦日は、帰路は午前様、どのコースを選ぶか、緊張したが、面白かった。



地図の出典：世界を旅する人のイエローガイド

